



2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月15日

上場会社名 株式会社Gunosy 上場取引所 東
コード番号 6047 URL <https://gunosy.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 健太郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 最高財務責任者 (氏名) 岩瀬 辰幸 (TEL) (03)5953-8030
四半期報告書提出予定日 2024年1月15日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	3,729	△5.1	△205	—	△751	—	△1,018	—
2023年5月期第2四半期	3,928	△10.4	△162	—	△929	—	△160	—

(注) 包括利益 2024年5月期第2四半期 △741百万円（-%） 2023年5月期第2四半期 337百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	△42.36	—
2023年5月期第2四半期	△6.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第2四半期	11,577	10,162	87.1
2023年5月期	12,324	10,857	87.5

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 10,086百万円 2023年5月期 10,788百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年5月期	—	0.00	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2024年5月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	△10.6	△260	—	△1,304	—	△1,648	—	△68.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

	2024年5月期2Q	24,237,774株	2023年5月期	24,237,774株
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期2Q	163,744株	2023年5月期	222,444株
② 期末自己株式数	2024年5月期2Q	24,041,321株	2023年5月期2Q	23,945,543株
③ 期中平均株式数（四半期累計）				

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式（2023年5月期：99,792株、2024年5月期2Q：91,092株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年5月期第2四半期の個別業績（2023年6月1日～2023年11月30日）

個別経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
2024年5月期第2四半期	2,298	△19.8	△371	—	△392	—	△16.35
2023年5月期第2四半期	2,867	△12.7	△150	—	△359	—	△15.01

2. 2024年5月期の個別業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,589	△18.5	△515	—	△537	—	△22.32

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループをとりまく経営環境につきましては、国内におけるスマートフォンの保有者の割合が2022年に77.3%と前年比3ポイント増加するなど、スマートフォンは引き続き普及拡大しており（総務省調べ）、また、2022年の広告費は前年比104.4%の7兆1,021億円と、2020年から続く新型コロナウイルス感染症の感染再拡大、ウクライナ情勢、物価高騰など国内外の様々な影響を受けつつも、通年で過去最高額となりました。その中でも、社会のデジタル化を背景に好調なインターネット広告費が市場の成長へ寄与しており、前年比114.3%の3兆912億円と、2兆円を超えた2019年からわずか3年で約1兆円の増額となりました（株式会社電通調べ）。

このような状況の下、当社グループは、既存のメディア事業においては「グノシー」の収益性の向上及びKDDI株式会社との協業アプリである「auサービスToday」「ニュースパス」の同社との連携強化による成長実現に注力しております。「グノシー」については、社会のインフラとなるような新しい時代のニュースメディアを目指し、社会的価値の高い「知っておくとよい情報」、個人的価値の高い「知りたい情報」の最適な配信の実現に向けた施策に取り組んでおります。第1四半期においては、広告宣伝投資を強化したことで新規ユーザーが積み上がったほか、前連結会計年度から取り組みを続けていたユーザー継続率の改善が見られました。一方で当第2四半期連結会計期間においては、第1四半期での発表通り、収益性の状況や広告市況の不確実性を踏まえ、広告宣伝投資を抑制して事業を運営してまいりました。その結果、ユーザー数は前四半期比で95%となったものの、前年同期比では101%の推移となりました。また、改善を進めていたユーザーあたり収益性については、第1四半期は厳しい状況でありましたが、広告ロジックの変更や営業活動の強化など各種施策に取り組んだ結果、前四半期比で103%となりました。今後とも、ユーザーあたり収益性の改善を進めつつ、広告市況の状況や投資対効果等を見極めながら、柔軟に広告宣伝投資額を決定してまいります。

新規事業においては、ChatGPTを活用した業務支援特化の生成AIサービス「ウデキキ」の本格展開を進めてまいりました。引き続き、LLMの活用に課題を抱えている企業に対し、LLMの実務への導入支援を進めてまいります。ムードペアリングブランド「YOU IN」においては、様々なシーンで“ムードペアリング体験”を提供することを目的とし、入浴料「MOOD PAIRING BATH awai」をリリースしました。

当社の持分法適用関連会社であるGaragePreneurs Internet Pvt. Ltd.（以下、GaragePreneurs）においては、North East Small Finance Bank Ltd.（以下、NESFB）との戦略的なパートナーシップを構築するために、これまでにNESFBに対する複数回の出資を通じて、同社の株式を10%取得しておりましたが、GaragePreneursはNESFBとの戦略的パートナーシップの強化のために、同社との合併に関するRBIの同意を獲得しました。同意に基づき、今後GaragePreneursは合併の法的効力発生に向けた各種の手続を開始し、それらが全て完了した場合、近い将来、NESFBとの合併が実現することとなります。また、2023年9月にPPIライセンスを取得したことによりデジタルカード発行の再開および新機能をリリースし、ユーザーの決済体験をアップデートした結果、主要KPIである貸出残高は引き続き順調に推移しております。

収益面に関しては、当第2四半期連結累計期間において、Gunosy Adsに係る売上高を2,005百万円計上いたしました。また、アドネットワークに係る売上高においては、厳格な広告審査を継続する中、当第2四半期連結累計期間で199百万円を計上いたしました。

費用面に関しては、「グノシー」において、市況の変化に合わせて広告宣伝投資額を一部抑制した結果、広告宣伝費511百万円（前年同四半期比5.4%増）を計上するほか、アドネットワークに係る売上高の減少に伴い媒体費が減少いたしました。

その他、持分法適用関連会社であるGaragePreneursに関して持分法による投資損失562百万円を計上し、特別損失に投資有価証券評価損165百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高3,729百万円（前年同四半期比5.1%減）、経常損失751百万円（前年同四半期は経常損失929百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1,018百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失160百万円）となりました。

なお、「グノシー」「ニュースパス」及び「auサービスToday」合計の国内累計DL数は当第2四半期連結会計期間末において6,811万DLとなり、前連結会計年度末比で266万DLの増加となりました。

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて747百万円減少し、11,577百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比736百万円の減少）、売掛金の増加（前連結会計年度末比52百万円の増加）、流動資産のその他の増加（前連結会計年度末比274百万円の増加）、投資有価証券の減少（前連結会計年度末比340百万円の減少）であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて51百万円減少し、1,414百万円となりました。主な要因は、前受金の減少（前連結会計年度末比46百万円の減少）であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて695百万円減少し、10,162百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少（前連結会計年度末比1,070百万円の減少）、為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末比330百万円の増加）であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べて87百万円増加し、5,188百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は、775百万円（前年同四半期は481百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失937百万円の計上、前払費用の増加300百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により獲得した資金は、866百万円（前年同四半期は789百万円の収入）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入882百万円、投資有価証券の取得による支出14百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は、5百万円（前年同四半期は3百万円の収入）となりました。これは主に、支払手数料の支払額5百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期通期の連結業績予想につきましては、2023年7月14日に公表いたしました数値を変更しております。詳細につきましては、本日（2024年1月15日）公表いたしました「2024年5月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,925	5,188
売掛金	669	722
その他	677	952
流動資産合計	7,272	6,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8	8
その他（純額）	4	4
有形固定資産合計	12	12
無形固定資産		
のれん	40	29
その他	0	0
無形固定資産合計	40	29
投資その他の資産		
投資有価証券	4,940	4,599
繰延税金資産	18	31
その他	39	41
投資その他の資産合計	4,998	4,672
固定資産合計	5,051	4,713
資産合計	12,324	11,577

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	421	386
未払金	325	302
未払法人税等	42	97
前受金	466	420
ポイント引当金	0	0
株式給付引当金	9	8
賞与引当金	—	4
その他	172	135
流動負債合計	1,438	1,355
固定負債		
株式給付引当金	9	9
繰延税金負債	19	49
固定負債合計	28	59
負債合計	1,466	1,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,099	4,099
資本剰余金	4,099	4,099
利益剰余金	2,478	1,408
自己株式	△307	△216
株主資本合計	10,369	9,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	65
繰延ヘッジ損益	90	△11
為替換算調整勘定	311	642
その他の包括利益累計額合計	419	696
新株予約権	68	75
純資産合計	10,857	10,162
負債純資産合計	12,324	11,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	3,928	3,729
売上原価	2,408	2,334
売上総利益	1,520	1,395
販売費及び一般管理費	1,683	1,600
営業損失(△)	△162	△205
営業外収益		
受取利息	5	20
為替差益	16	20
その他	1	2
営業外収益合計	23	42
営業外費用		
支払手数料	8	4
投資事業組合運用損	12	21
持分法による投資損失	768	562
その他	1	0
営業外費用合計	790	588
経常損失(△)	△929	△751
特別利益		
投資有価証券売却益	9	—
持分変動利益	1,001	—
新株予約権戻入益	2	0
特別利益合計	1,012	0
特別損失		
減損損失	—	19
投資有価証券評価損	—	165
特別損失合計	—	185
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	83	△937
法人税、住民税及び事業税	25	79
法人税等調整額	219	1
法人税等合計	245	81
四半期純損失(△)	△161	△1,018
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△160	△1,018

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
四半期純損失(△)	△161	△1,018
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	48
繰延ヘッジ損益	30	△101
為替換算調整勘定	3	—
持分法適用会社に対する持分相当額	412	330
その他の包括利益合計	498	277
四半期包括利益	337	△741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	338	△741
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	83	△937
減価償却費	11	1
減損損失	—	19
のれん償却額	11	11
為替差損益(△は益)	△156	△156
受取利息	△5	△20
投資有価証券売却損益(△は益)	△9	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	165
持分法による投資損益(△は益)	768	562
持分変動損益(△は益)	△1,001	—
売上債権の増減額(△は増加)	28	△52
仕入債務の増減額(△は減少)	△39	△34
未払金の増減額(△は減少)	103	△23
前払費用の増減額(△は増加)	△391	△300
前受金の増減額(△は減少)	85	△46
株式給付引当金の増減額(△は減少)	9	8
その他	28	12
小計	△472	△789
利息及び配当金の受取額	5	20
法人税等の支払額	△13	△6
営業活動によるキャッシュ・フロー	△481	△775
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	1,004	882
投資有価証券の取得による支出	△247	△14
投資有価証券の売却による収入	29	—
その他	2	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	789	866
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	12	—
支払手数料の支払額	△8	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	3	△5
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	308	87
現金及び現金同等物の期首残高	4,947	5,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,255	5,188

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報の記載を省略しております。